

実りの秋となりました。ニットキャップ人形が好評で、参加された皆さんの手から実がなるように、次々と生まれています。見学がてらどうぞ参加ください。

kioku 手芸館

たんす

たんすレター



第7号

編むのワークショップ



【ワークショップレポート】

呉夏枝(お・はち)さんは、織物や編み物を記憶や時間が織込まれたメタファーとしてとらえ、織物に織込まれなかったものや、言葉として表れなかったもの—語られなかった記憶—を探求し、作品制作を行ってきました。

「たんす」では、呉さんの作品制作の過程として、「編み物」にまつわるワークショップを週2回程度行いながら、地域の女性たちが集い、語る場—記憶をほぐす場—をつくっています。さらに9月からは、これまでの「編み物をほぐす/ほぐすワークショップ」に加え、地域で集めた「家庭で眠っていた毛糸」を材料とする「編むワークショップ～ニットキャップ人形編～」をスタートしました。ここでの「編む」という行為は、個々の毛糸に込められた記憶をあらたに紡いでいく行為であり、このワークショップを通じて、呉さんは地域で集まった糸が別の場所へと広がり、つながっていく様子を思い描いています。

■山王女性会対象ワークショップ (9/26)

11名がご参加いただき、中には「たんすレター第5号」で編み図を見て、すでに編んでおられる方が数人おられました。マフラーをしたり、ショルダーバッグを持っていたり、ドレッドヘアの黒人さんだったり、それぞれの工夫やアレンジがひかっています。お孫さんにプレゼントしたところ、お気に入りでも、おもちゃのベビーカーに人形を乗せている写真を見せてくださった方も。

■一般対象ワークショップ (9/28)

初来館のご近所の方や区外の方、親子参加の方、さらに山王女性会の方々が編み方を教えるお手伝いに来てくださり、11名でワイワイ作りました。

1回のワークショップでは完成しないので、持ち帰って進める方もいますし、「持って帰ると時

間を忘れて編んじゃうから、ここに置いておくわ」と言って、他の開館日に来て続きを編まれる方もおられます。この出会いをきっかけに、皆さんの自作の編み物を見せていただいたり、編み物にまつわるお話を聞かせていただいたりしています。

「たんす」では、今後も月2回程度「編むワークショップ」を開催しますが、「ワークショップ」には参加できないけど編んでみたい」という方にも、キット材料をお渡しすることができます。また、皆さんに編んでいただいた人形は、来年2月開催の展覧会で展示させていただきたいと思っています。(お借りした人形は、展示終了後ご返却します)



ひきつづき「編み物をほぐす/ほぐすワークショップ」も行っています。また、募集していた編み物につきましては、おかげさまで目標の100着を達成しました！ご協力ありがとうございました。(内山幸子)

【編むワークショップ～ニットキャップ人形編～】

開催日 | 11/16(土)、12/5(木)、21(土)

時間 | 13:30~16:00

持ち物 | (あれば) 2~8号棒針 *貸出も可能
参加無料

【展覧会予告】

2014年2/15(土)~3/2(日)

大阪府立江之子島文化芸術創造センター[enoco]

2014年2/16(日)~3/9(日)

kioku 手芸館「たんす」

※開館時間や休館日等の詳細は、次号でお知らせします。



2013年5月29日 中本雅子さんにお借りして撮影。

妹さんが、甥っ子(息子さん)のために編んだWオーバーを、ほどいて編んだチョッキ。